



学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを
生涯の誇りにできる生徒の育成
3学期始業式号 令和4年1月11日

狛江市立 狛江第一中学校

狛江市和泉本町2-15-1
TEL 03(3480)0121

3学期の意味

校長 吉田 知弘

いよいよ今日から3学期が始まります。改めまして、昨年中は本校の教育活動に様々な形でご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。今年も教職員一同、生徒たちのために誠心誠意努力いたします。保護者、地域の皆様方には、本年も変わらず、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

3学期は、授業日数が1・2年生は52日、3年生は49日という1年で一番短い学期です。また、1月・2月・3月の語呂合わせから「行く・逃げる・去る」とも言われるように過ぎるのが大変早く感じる学期でもあります。しかし、新年度の準備にもあたる3学期は「新年度の“0”学期」とも言われます。「新年度の“0”学期」とは、この3学期を4月からの新しい生活の準備をする学期にして欲しいということです。なぜなら、この3学期の様子を見れば4月からの新年度1年間がどうなるかをだいたい予想できるからです。

3年生にとって3学期一番重要なことは進路決定です。この間、目標としている進路希望の実現に向け、学習に全力投球すると思いますが、ここでの勉強は4月からの新しい生活でも必ず役に立ちます。中学3年間の締めくくりでもあり、4月からの準備でもあるこの3学期を悔いなく過ごしてください。

2年生は3年生からバトンを受け、すでに多くの場面で“学校の顔”としてその中心的役割を担ってくれています。3学期は最上級生となる4月に向け、態度でも心構えの面でもその準備をしていくラストスパートの時期です。お世話になった3年生が安心して卒業していけるよう全力で頑張りましょう。

1年生は卒業期の学校行事を通して、2年生をしっかりとサポートすることが来たるべき中堅学年に求められる「先輩を助け、後輩の良き手本」となる準備機会となります。自分たちが“狛江一中の屋台骨”であるという自覚をもち、より一層の成長を見せてくれることを期待しています。

新型コロナウイルス感染症の再流行が危惧される中での3学期のスタートとなりました。もうしばらくの間、我慢の日常が続きそうですが、しっかりと感染対策を講じつつ、今年も日々の教育活動を大切に生徒一人一人の成長を支えていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【3学期の主な行事（現時点での予定）】

- 1月11日(火):始業式 1月19日(水)・20日(木):1組移動教室
1月20日(木):1年福祉体験 1月28日(金):本校「狛江の教育21」研究発表会
2月13日(日)~15日(火):2年移動教室 2月22日(火)~25日(金):学年末考査
3月4日(金):総合発表会 3月5日(土):作品展
3月7日(月):3年救命救急講習会 3月12日(土)・13日(日):3年宿泊学習
3月18日(金):卒業式 3月22日(火):1・2年保護者会
3月23日(水):1・2年音楽の街—狛江—コンサート 3月25日(金):修了式

2年生キャリア学習 職場訪問：令和3年11月26日（金）

これまで「職業調べ」などをおして職業についての理解を深め将来について考え、ハローワーク府中から講師の先生をお招きしてレディネステストを実施し、自分の適性を見つめました。

その後、市内の職場を訪問させていただき、インタビューをおして職業についての理解を深めました。



1年生校外学習 令和3年11月29日（月）

スローガン

「皆と未来へ（みなとみらいへ）～ぼくらの七十二日間ヌードル～」

72日間は2年生になるまでのカウントダウンの日数。時間を意識して行動し、ルールを守って仲間と協力する大切さを今回の校外学習でも学びました。



落語教室 令和3年12月17日（金）

前半は実演をおして人を引きつける話し方を学び、後半は3年生が大喜利に挑戦しました。4名の生徒が登壇し、会場を笑いで包みました。



中学生の「税についての作文」

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が「将来を担う中学生が身近に感じた税に関すること、学校で学んだ税に関すること、テレビや新聞などで知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち、正しい理解を深める」趣旨で実施しているものです。

本校からは3年生が応募して、審査の結果、2名の生徒が入賞しました。令和3年12月14日（火）に粕江市役所本庁舎で表彰式が行われました。

3年 渡部 美咲さん 粕江市長賞

3年 塗木 ルナさん 武蔵府中納税貯蓄組合連合会会長賞

